

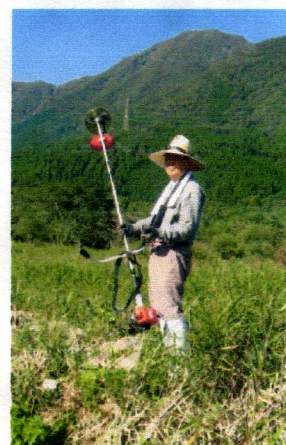
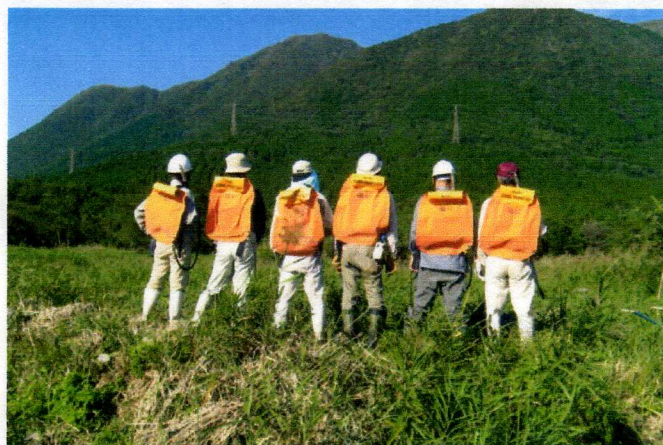
## 保全活動に対する支援や助成に感謝

保全の会の活動はだれからも拘束されることなく、かつての湿地を回復し、貴重な自然を末永く残していこうという活動の趣旨に賛同した人たちの自主的な集まりで、まったくのボランティア活動で成り立っています。しかしながら、活動を進めていくには刈り払い機、チェーンソー、ジェットシューターなどの機材を揃えたり燃料費や通信費などの経費が必要になってきています。

これまで、(株)アサヒビールやボランティアファンド、大分県などから援助をいただきましたが、今回、次の3件のご支援をいただきました。ありがとうございました。

### 1. 豊和銀行NPO団体助成金

大分県の環境保全、文化振興等に貢献しているNPOやボランティアを支援する制度で、9団体応募の中から猪の瀬戸湿原保全の会の湿原再生の取り組みが認められ、9月22日、川野理事長が豊和銀行本店で表彰状と目録をいただきました。



助成金は20万円で、早速、ジェットシューター(6機)

購入したジェットシューター(6)と刈り払い機

と刈り払い機(1台)を購入して、9月25日の輪地焼き作業で使用し有効に機能しました。

### 2. 活動賛同者からの支援金

別府市在住の仲田イセさんから活動の一助にと1万円の支援金をいただきました。

仲田さんはサザンクロス講座の受講生で、以前から自然への関心が高く、森林化し始めた猪の瀬戸湿原の現状を見るたびに貴重な生物が保全されるかどうか気をもまれていたようです。保全の会の活動を知って、会員の黒瀬さんを通じて届けていただきました。仲田さんのように保全活動を理解して、支援していただく仲間がいることは心強い限りです。



### 3. 用具運搬用一輪車の寄贈

保全の会の活動も貴重植物の保護柵設置や、外来植物除去活動、県道周辺の清掃活動と活動が多岐にわたり、それに伴って使用する用具も増えてきました。

これらの用具を活動のたびに会員一人ひとりが両手にさげて運んでいましたが、会員の相田展正さんが奥さまの愛用していた一輪車を運搬用に寄贈してくれました。

燃料や小道具を乗せて運ぶのにたいへん助かっています。

寄贈の一輪車で作業用具を運ぶ相田さん